

試聴会・訪問記掲載

河口無線カートリッジ試聴報告(2019.3.14)

M氏が河口無線に依頼して最新のカートリッジの試聴会を企画されましたので、参加しました。これに合わせて、アナログ盤と同一マスターからのMQA-CDの比較や、MQA-CDと通常CDとの比較試聴も、メリディアン Model218 を使用して実施しました。M氏の呼びかけで、O氏、I氏、ST氏、M谷氏、OT氏も参集されました。

<試聴システム>

今回の試聴対象は、オルトフォンの新しいMCカートリッジ2機種でしたが、入荷が間に合わず、急遽、My Sonic のカートリッジが使用されました。



The MC Century



The SPU Century

カートリッジ：



Signature Gold



Signature Platinum

トランス：

My Sonic Stage 302

フォノイコライザー：

Lux EQ-500

プレイヤー：

Lux PD-171A



アンプ：

ラックスマン プリメインアンプ L-509X

スピーカー：

アンフィオン KRYPTON-3



アクセサリ：

エレスタ EL-AEX-Vol.3 (持参品)

エレスタ Standard Carbon Vol.7 (持参品)

DA コンバーター：

メリディアン Model 218



デジタルプレイヤー：

ヘーゲル CDP-4A



当日のセッティング

<試聴の経過>

まずは、M氏が持参された、Ortofon SPU Royalで慣らし試聴を行ったのち、Signature Platinumによる試聴から開始しました。

M氏持参の、シュタルケルのBeautiful Melody、シュタルケルのバッハのチェロ組曲、魔女の秘薬、クララ・ハスキルのモーツアルトのP協13番などが次々とかけられていきました。アンフィオンのKRYPTON-3の現代的なハイエンド調の個性が前面に出てきていましたが、Signature Platinumの、細部まで丁寧に音楽の表情を描き出すパフォーマンスが確認できます。

ここでSignature Platinumから、Signature Goldに付け替えて、同じモーツアルトのP協13番とアルパンベルクのベートーベンの弦楽Q13番を聴いてみましたが、Signature Platinumに比べて、煌びやかで、若干演出過剰なところが出てきました。これらの傾向は、[河口無線カートリッジ試聴報告\(2018.8.11\)](#)でも確認していますが、スピーカーが変わったハイエンド調のKRYPTON-3でも同様の結果です。

再び、カートリッジをSignature Platinumに付け替え、当方が持参した[My Sonic Signature Goldの活用\(40\)](#)で報告済の、モーツアルトのレクイエム、ベーム指揮ウイーンフィルのMQA-CDとアナログ盤、カラヤン指揮ベルリンフィルのアナログ盤、最新録音のフライブルグバロックオーケストラのアナログ盤を聴いていきましたが、指揮者の解釈や盤の成り立ちやフォーマットの違いがしっかり分かりました。フライブルグバロックオーケストラのアナログ盤では、持参した、エレスタEL-AEX-Vol.3をターンテーブルシート上に、エレスタStandard Carbon Vol.7をフォノイコライザーの天板板に設置して、同席者にその効果の判定を問うたところ、[アナログ関連アクセサリの試聴\(13\)](#)と[Brooklyn DAC+の活用\(2\)](#)で報告した効果を認めていただきました。

ここで、MQA-CD と通常 CD の聴き比べをしていただくために、モーニン、マイルスの枯れ葉、イパネマの娘など Jazz の MQA-CD と通常 CD がセットになったサンプル盤を交互にかけていきましたが、あまりクラシックを聴かれない M 氏と ST 氏は、このようなジャンルでも MQA のメリットを感じておられるようでした。クラシック畑の OT 氏からは、MQA-CD の方は気持ちよく聴けるとの声があがり、[上新電機の試聴会](#)では MQA-CD の再生に拒否反応を示していた I 氏も、[河口無線での前回のメリディアン Model218 の試聴](#)に引き続いて、マイナスイメージが払しょくされたようでした。

最後に O 氏持参のベーム指揮ウイーンフィルの蝙蝠を聴いて試聴の打ち止めということにしましたが、O 氏は盛んに My Sonic のカートリッジのパフォーマンスを気にかけておられるようでした。

<まとめ>

期待していた The MC Century と The SPU Century は聴くことができませんでした。My Sonic の高級カートリッジを最新のスピーカーで聴くことができました。Jazz の音源を使用した MQA-CD と通常 CD との比較では、M 氏と ST 氏から、顕著な差があるとのコメントがあり、さらにエレスタの効果も確認できました。

機会を改めて The MC Century と The SPU Century、さらにはメリディアンの DAC の上級機である Ultra DAC を聴きたいと思っております。

以上